

広報軽米 【2023年（令和5年）10月号】からの抜粋

（軽米病院だより）

軽米病院だより

岩手県のコロナ状況

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

今はテレビでも旅行や飲食・芸能など楽しい話題が増え、コロナの話題は出なくなりましたね。そのおかげで各種スポーツ大会や帰省もできて、皆さんは「久しぶりに孫に会えた」などといううれしい感想をお持ちかと思います。

私たちは病院で働いているので感染対策は気にしています。岩手県のコロナ感染者数は、お盆前後から毎週1,886人、1,960人、

2,220人と右肩上がりに増えて一時は日本一になりました。そのため、せっかく再開した面会を禁止するところも増えました。その後9月末になって、1,882人から1,351人と減少傾向です。発熱外来への電話も繋がりにくかったのですが、最近は陽性者も少なくなりました。このまま収束してくれることを期待します。

軽米病院では、感染拡大時にもホール等に移動して、他の患者さんと接点がないようにして面会の許可をしていましたが、ベッドの移動にも時間がかかり、面会人数に制限が出ているのはご容赦ください。